東京外国語大学『語学研究所論集』第 20 号（2015.3）, 43-61

〈研究ノート〉

マダガスカル語の複節構文に関して

箕浦 信勝

1. はじめに

本稿は，本論集本号向けに風間伸次郎が作成したアンケートに基づいて書く．アンケートの詳細は，風間(2015)に詳しい．マダガスカル語には，動詞が他の節に付加語句的に掛かるときに用いられる形式は無い．言い換えると，連用的な様々な形式や，一部の言語の記述で用いられる用語，副動詞・分詞で呼ばれうるような形式は無い．その代わりに用いられるのは，まずは動詞の定形であり，必要があれば接続詞が用いられるであろう．または，動詞から派生した名詞のうち，状況態名詞（動詞の状況態現在形に接頭辞 f-を添加したもの）を使って，それを付加語句にするなんらかの手法を施して使うのであろうと考えられる．

2. マダガスカル語のデータの吟味

2.1. 風間(2015)から

以下にマダガスカル語のデータを見ていく．データは，首都圏方言[1]の母語話者である豊田ライブ氏から，2015 年 3 月に東京都内で聞き取り調査をして集めた．豊田は，風間(2015)の各例文を元にその場で作文した．

(1) a. m-am-aky gazety foana izy eo
AV.PRS-VM[2]-読む 新聞 いつも 彼(女)は そこで
am-p-i-sakafo-ana
ACC-NMLZ-VM-食事する-CV
「彼(女)はいつも食事の場で新聞を読む」

b. m-am-aky gazety foana izy rehefa m-i-sakafo
AV.PRS-VM-読む 新聞 いつも 彼(女)は のとき AV.PRS-VM-食事する
「彼(女)は食事をするとなるといつも新聞を読む」

---

[1] 首都圏方言とは，マダガスカル語標準語となった，マダガスカル中央高地のメリナ族の方言を概ね指す．尚，細かく指摘を下さった査読者のお 1 方には謝意を表す．

[2] 結合価標識(VM)は，an-/i-のように交替する場合には，前者が能動，後者が中動のような対立をなすが，交替をなさない場合，i-でも中動的でない他動詞であることもあり，共時的には常に素直に結合価ないしボイスをはっきりと表わすものではなく仄めかす程度のものである．

これは，風間(2015)[3]が「同時動作」の例文としてあげた和文「彼はいつも新聞を読みながらご飯を食べる」が元になっている．その結果として，状況態名詞[4]を使った(1a)と定形動詞を接続詞で導いた(1b)が得られた．

(1’)

c.	sady	m-i-sakafo	izy	no	m-am-aky
	その上	AV.PRS-VM-食事する	彼(女)は	NMLZ	AV.PRS-VM-読む
	gazety	foana			
	新聞	いつも			

「彼(女)はいつも新聞を読み，そして食事をする」

d.	m-am-aky	gazety	foana	izy	sady/no
	AV.PRS-VM-読む	新聞	いつも	彼(女)は	その上/NMLZ
	m-i-sakafo				
	AV.PRS-VM-食事する				

「彼(女)はいつも新聞を読み，そして食事をする」

豊田はさらに，(1b)のバリアントとして，(1’c, d)を挙げた．no は，後続する節を名詞化（準体詞化）するものである．no の異動，さらには sady の異動，「食事する」と「読む」のどちらを先に言うかで，(1b, 1’c, d)の各例文が得られる．

(2)

n-ody	t-amin-ny	folo	aho	omaly	(dia)
AV.PST-帰る	PST-OBL-DEF	10	私は	昨日	(そして)
n-i-jery	haino[5]	aman-jery	kely	(avy eo)	dia
AV.PST-VM-見る	聞くこと	OBL-見ること	ちょっと	(から そこ)	そして

[3] 本稿が参考としたのは，厳密に言えば，本論集本号内の風間論文(2015)ではなく，本学語学研究所の所員メーリングリストで回された無署名のアンケートであるが，内容的にはその全体が風間(2015)に入れられていると考えて，便宜上，風間(2015)を参照するようにしている．）

[4] misakafo（食事する）の状況態名詞は fisakafoana である．この状況態名詞は食堂という場所の他，食事をする様々な状況を表わしうる．場所指示詞(ここでは eo)プラス場所名詞句で，「どこどこで」を表現することができる．場所名詞は，引用形式と同じもの（例えば Madagasikara マダガスカルなどの地名），対格接頭辞 an-を付けるもの，斜格前置詞 amin を伴うものの３種がある（森山 2003）．ここでは，対格接頭辞 an-が付いて，an-+fisakafoana → am-pisakafoana と音韻論的変化を被っている．

[5] テレビを，豊田氏は古い言い方 haino aman-jery（見ることを伴う聞くこと）と訳したが，これは現在ではフランス語の télévision あるいは télé ということが多いと思われる．それをマダガスカル語化した televizionina もある (39).

n-a-tory
AV.PST-VM-寝る
「私は昨日 10 時に家に帰って，少しテレビを見て(から)寝た」

(2)は，風間(2015)が「継起的動作・物語的連鎖」として挙げた和文「（私は）昨日は 10 時に家に帰って，少しテレビを見て(から)，寝ました」が元になっている．dia（そして）で，３つの節が繋がれている．「から」,「それから」のニュアンスを入れるには，avy eo（それから）を挿入すればいいとのことであった．ただ，dia が２回出てくることに，豊田氏は違和感を覚え，１つ目の dia は消して，そこには正書法上，カンマを置いても良いと言っていた．

(3) n-i-anjera t-eo[6] amin-ny tohatra aho omaly
AV.PST-VM-転ぶ PST-そこで OBL-DEF 階段 私は 昨日
ka n-a-ratra
そして AV.PST-VM-怪我する
「私は昨日階段で転んで，怪我をしてしまった」

(3)は，風間(2015)が,「継起 : 理由」として挙げた例文が元になっている．(2)とは違って，継起・理由的なニュアンスを伴う接続詞 ka（そして）が用いられている．

(4) n-an-deha n-i-asa any[7] am-p-i-asa-na
AV.PST-VM-行く AV.PST-VM-働く あそこで ACC-NMLZ-VM-働く-CV
i Dada ary n-an-deha n-i-anatra any[8]
DEF 父 さらに AV.PST-VM-行く AV.PST-VM-学ぶ あそこで
amin-ny oniversite indray i zoky androany
OBL-DEF 大学 再び DEF 兄/姉 今日
「今日も父は会社に言って，兄/姉は大学に行った」

[6] teo amin’ny tohatra（階段で）は，脚注 1 にも挙げられていたのと同様な場所指示詞プラス場所名詞句の構造である．ここでは，場所指示詞が過去時制の標識 t-を伴っている．また場所名詞句は，斜格前置詞 amin を伴っている．
[7] any am-piasana（仕事場で）は，脚注 1, 4 で挙げたものと同様の場所指示詞プラス場所名詞句の構造である．am-piasana は，an- （対格）プラス状況態名詞 fiasana（仕事場）が音韻論的変化を被ったものである．fiasana は miasa（働く）の状況態名詞である．
[8] any amin’ny oniversite も，脚注 1, 4, 5 で挙げたものと同様の指示詞プラス場所名詞の構造である．oniversite を場所名詞句にするためには，斜格前置詞 amin が用いられている．

(4)は，風間(2015)が「異主語」の例として挙げた和文「今日も父は会社に言って，兄は大学に行った」が元になっている．接続詞 ary で，独立的に用いうる２節が接続されているが，これらの２節は，後節に出てくる indray ~ androany（今日も）を共有しているようだ. もしその共有があるとすれば, これら２語が後節に置かれていることに注意されたい.

(5)

lasa	n-an-deha	n-an-ao	satroka
去った	AV.PST-VM-行く	AV.PST-VM-する[9]	帽子
iny	olona	iny[10]	androany
あの	人	あの	今日

「あの人は今日帽子を被って行ってしまった」

(5)は，風間(2015)が「付帯状況」の例としてあげた例文「（あの人は）今日は帽子を被ってあるいていた」が元になっている.「歩いていた」が,「行ってしまった」になっているが，問題となっている部分には関係が無いと思われる．lasa[11]（去った）は,「てしまった」のようなニュアンスを出していると豊田は説明している．ここで気に留めてほしいのは, lasa nandeha（行ってしまった）と nanao（装着した）はどちらも定形であり，さらには, 接続詞などを介在せずに並べられているということである.

(6)

isaky	ny	tsy	m-i-asa	aho	dia
度に	DEF	NEG	AV.PRS-VM-働く	私は	と
m-am-aky		boky	na	m-i-jery	haino
AV.PRS-VM-読む		本	か	AV.PRS-VM-見る	聞くこと
aman-jery		foana.			
OBL-見ること		いつも			

「私は休みの日にはいつも本を読むか，テレビを見るかしている」

---

[9] manao（過去：nanao）は，汎用的な「する」を意味する動詞であるが，身に付けるものを「付ける」という意味にも使われる.

[10] 名詞句(olona)に指示詞(iny)を添える場合，名詞句全体を２つの指示詞で囲むというのがマダガスカル標準文語の規範である.

[11] lasa は，マダガスカル語伝統文法で語根受動態と呼ばれるものであり（森山 2003），本稿の用語に合わせれば語根目的語態とでも呼べるものである．語根が接辞無しで使われ，１項動詞のときには S 項を主題主語とし，２項動詞ときには，P 項を主題主語，A 項を属格のエンクリティックとして採る．両者は和訳では大幅に変わり，lasa（去った）に対し，lasa-ko（-ko は１人称単数属格エンクリティック）は「私は持ち去った・取り去った」の意になる．また，グロスで「去った」と書いているように，語根目的語態の動詞は，完了的なアスペクトがディフォールトである.

(6)は，風間(2015)が「並行動作」の例として挙げた和文「（私は）休みの日にはいつも本を読んだり，テレビを見たりしています」が元になっている．

(7)	andao	haingana[12]	fa	tsy	m-isy	fotoana
	HRT	急いで	から	NEG	AV.PRS-ある	時間

「時間がないから，急いで行こう」

(7)は，風間(2015)が「理由・カラ」の例として挙げた和文「時間がないから，急いで行こう」が元になっている．マダガスカル語には理由を導く接続詞がいくつかあるが，ここではその中で一番弱めなニュアンスを持つ fa が用いられている．

(8)	a. n-a-rary	an-doha	aho	omaly	ka	n-a-tory
	AV.PST-VM-痛む	ACC-頭	私は	昨日	ので	AV.PST-VM-眠る

「私は昨日頭痛がしたので，寝ていました」

	b. n-a-rary	ny	loha-ko	omaly	ka	n-a-tory
	AV.PST-VM-痛む	DEF	頭-私の	昨日	ので	AV.PST-VM-眠る

「私は昨日頭が痛かったので，寝ていました」

(8)は，風間(2015)が，「理由・ノデ」の例として挙げた和文「昨日は頭が痛かったので，いつもより早く寝ました」が元になっている．「いつもより早く寝ました」が「寝ていました」に変わっているが，例としては問題無いと思われる．ここでは接続詞 ka が用いられている．なお，(7)の fa は「帰結 fa 理由」の順序で，(8)の ka は「理由 ka 帰結」の順序になっていることに注意されたい．

(9)	lasa	n-i-vidy	boky	iny	olona	iny
	行った	AV.PST-VM-買う	本	あの	人	あの

「あの人は本を買いに行った」

(9)は，風間(2015)が「趨向／移動の目的」「～しに行く」による移動の目的を示す文として挙げた「あの人は本を買いに行った」が元になっている．lasa（行った）とその目的 nividy

[12] andao は共時的には「一緒に～しよう」的な意味を持った不変化語で，動詞に後続されることが多いが，ここでは，副詞 haingana（早く）と一緒に用いられて「早くしよう・行こう」的な意味になっている．

（買った）はどちらも定形であり，接続詞もなく，「目的節」が従属的な節であることを示す標識も無い.

(9’)

n-i-janona	t-ao	an-trano	aho	mba
AV.PST-VM-留まる	PST-そこに	ACC-家	私は	ために
h-ah-afah-an-dRasoa	m-i-voaka			
FUT-CAUS-自由だ-CV[13]-ラスア	AV.PRS-VM-外出する			

「ラスアが外出できるように，私は家に留まった（直訳：ラスアを外出させるように，私は家に留まった」

(9’)は，角田太作(1991 [2009])が，「語順」の章で，「主語が違う目的節と主節」について書いていたことを思い出して，豊田に作文してもらったものである．目的節は mba に導かれた未来形動詞によって表現されている．前節の主語は aho（私は）であるが，後節の述語動詞は, mahafaka (自由にする, manafaka とも)の関係態(hahafahan(a))の形になっており，動作主ラスアはそこに属格で統語的複合をされている．よって，後節の主題主語はラスアではない．動詞が状況態になっていることからすると，前節全体が，後節の主語になっている（状況を可能ならしめるように）のだと考えられる．いずれにせよ，別々の人が主語である二節を繋いだ目的節構文にはなっていない．もしかすると，それはマダガスカル語には難しいのかも知れない．目的節構文ではなく，異主語の２節が等位接続されたものは(4)に見た.

(10)

no-voha-i-ny	ny	varavarankely		mba
PST-開ける-OV-彼が	DEF	窓		ために
h-i-jer-e-ny	tsara	ny	avy	ivelany
FUT-VM-見る-CV-彼が	良い	DEF	から	外

「彼(女)が外がよく見えるように，窓は(彼(女)が)開けた」

(10)は，風間(2015)が「目的・意図」を表わすものとして挙げた和文「（彼は）外が良く見えるように窓を開けた」が元になっている．元の和文からすると，主節と目的節が同じ主題主語を立ててよさそうなものである．しかし，マダガスカル語の例(10)はそうなって

[13] CV 状況態(circumstantial voice)とは，動作者，目的語以外の，あらゆる斜格項的なもの，付加語句的なものを主題主語に据える動詞形式である．これは，斜格項や付加語句を目的語に昇格させる適用態(applicative voice)に似ているが，違いは，目的語ではなく主題主語に昇格させるところである．この文では，mba より前の前節全体が，mba 以下の後節の「前提条件」という斜格的・付加語句的な意味を持った主題主語として働いている.

いない．主節の動詞は目的語態[14]になっており，主題主語は被動者である「窓」である．目的節の動詞は，状況態になっており，やはり，主題主語は，ny avy ivelany（外から来るもの）になっている．

(11)	avy	foana	ny	orana	rehefa	fahavaratra	aty
	来る	いつも	DEF	雨	のとき	夏	ここ

「ここでは夏はいつも雨が降る」

(11)は，風間(2015)が「恒常的条件」を得るために挙げた和文「ここでは夏になると，よく雨が降ります」が元になっている．マダガスカル語の例文(11)で，条件節の方には，動詞的な述語は無い．

(11’)	rehefa	fahavaratra	aty	dia	avy	foana	ny	orana
	のとき	夏	ここ	は	来る	いつも	DEF	雨

「ここでは夏はいつも雨が降る」

(11)と，主節と条件節の前後を逆にすると，(11’)が得られる．その場合，先行する条件節の後に，dia が置かれる．

(12)	a. n-iditra	ny	rivotra	m-an-gatsiaka	raha	vao
	AV.PST-入る	DEF	風	AV.PRS-VM-冷たい	とき	途端
	no-voha-ina	ny	varavarankely			
	PST-開ける-OV	DEF	窓			

「窓が開いた途端，冷たい風邪が入ってきた」

b. n-iditra	ny	rivotra	m-an-gatsiaka	raha	vao
AV.PST-入る	DEF	風	AV.PRS-VM-冷たい	とき	途端
no-voha-i-ko		ny	varavarankely		
PST-開ける-OV-私が		DEF	窓		

「私が窓が開けた途端，冷たい風邪が入ってきた」

(12)は，風間(2015)が「確定条件・生起」の例として挙げた和文「窓をあけると，冷たい風が入ってきた」が元になっている．(12a, b)のどちらでも，主節は動作者態，条件節は目

[14] 目的語態は，フランス語の文法用語などの影響を受けた伝統文法では受動態と記述されている（森山　2003）．

的語態になっている．目的語態動詞は，属格動作者が標示されないと(12a)，「開いた」と訳されるものとなり，属格動作者が標示されると(12b)，「私が開けた」と訳されるものとなる．

(13) a. raha vao taf-akatra ny lalana dia
とき 途端 CMPL-登る DEF 道 と
n-aha-tazana ny ranomasina
AV.PST-CAUS-見える DEF 海
「道を登りきった途端，海が見えた」
b. raha vao taf-aka-ko ny lalana dia
とき 途端 CMPL-登る-私が DEF 道 と
n-aha-tazana ny ranomasina aho
AV.PST-CAUS-見える DEF 海 私は
「私が道を登りきった途端，私には海が見えた」

(13)は，風間(2015)が，「確定条件・発見」の例として挙げた和文「坂を上ぼると，海がみえた」が元になっている．「私」を言わないこともできるが(13a)，表現することもできる(13b).

(14) raha avy ny orana rahampitso dia
もし 来る DEF 雨 明日 たら
tsy h-an-deha any aho
NEG AV.FUT-VM-行く あそこ 私は
「もし明日雨が降ったら，私はそこに行かない」

(14)は，風間(2015)が，「仮定条件」の例として挙げた和文「明日雨が降ったら，私はそこに行かない」が元になっている．raha と dia で，仮定条件を表現している．

(15) tahak'izay aho n-i-foha haingan-kaingana[15]
良かったなあ 私は AV.PST-VM-起きる 早い-REDUP
「私はもうちょっと早く起きれば良かったなあ」

[15] haingana（早い／早く）の重複形 haingan-kaingana には「ちょっと」のニュアンスが付加されている．

(15)は，風間(2015)が「反実仮想」の例として挙げている和文「もっと早く起きればよかったなあ」が元になっている．風間(2015)がいうように，（接続法こそ無いが）マダガスカル語では過去形の動詞が用いられている．

(16)	tahak’izay	aho	tsy	n-an-deha	t-any
	良かったなあ	私は	NEG	AV.PST-VM-行く	PST-あそこに
	amin-ny iny	toerana	iny		
	OBL-DEF あの	場所	あの		

「あの場所に行かなければよかったなあ」

(16)は，風間(2015)が「反実仮想・前件否定」の例として挙げている和文「あんなところに行かなければよかったなあ」が元になっている．やはり，(15)と同様に，過去形の動詞が用いられている．

(17)	raha	ampi-ana	iray	ny	isa	iray
	もし	足す-OV	1	DEF	数	1
	dia	m-an-ome		roa		
	と	AV.PRS-VM-与える		2		

「１に１を足すと２になる」

(17)は，風間(2015)が「一般的真理」の例として挙げている「１に１をたせば，２になる」が元になっている．条件を表わす raha ~ dia が用いられている．

(18)	m-i-antso-a	ahy	raha vao/rehefa	tonga
	AV.PRS-VM-呼ぶ-IMP	私を	たらすぐに/もし	着く
	eny amin-ny gara	ianao		
	あそこ OBL-DEF 駅	あなたは		

「あなたは駅に着いたら私に電話してください」

(18)は，風間(2015)が「仮定条件＋働きかけのモダリティ」の例として挙げている和文「駅に着いたら電話をしてください」が元になっている．raha vao（たら　すぐに），rehefa（もし）などが使える．

(19)	rehefa	tonga	ny	Paka	dia
	もし	来る	DEF	復活祭	たら

te-h-an-deha	any	an-Tsimbazaza	isika
DES-AV.FUT-VM-行く	あそこ	ACC-ツィンバザザ	私たち

「復活祭が来たら，私たち一緒にツィンバザザ動物園に行きたいなあ」

(19)は，風間(2015)が「仮定条件＋願望」の例として挙げた和文「日曜日になったら，みんなで公園に行きたいなあ」を適宜改変したものである．包含 1 人称複数の願望が使われている．

(20)

m-aha-sosotra/m-aha-n-dreraka	raha	avy	ny	
AV.PRS-CAUS-嫌だ/ AV.PRS-CAUS-?-疲れる [16]	もし	来る	DEF	
orana	rahampitso			
雨	明日			

「明日雨が降ったら嫌だ/うんざりだ」

(20)は，風間(2015)が「心配」の例として挙げた和文「明日雨が降ったら困るなあ」が元になっている．風間(2015)の言うような心配法のような文法範疇は無いが，述語動詞は形容詞的な心理述語の使役形で，その使役者には，条件節が当たっている．人でないものが使役述語の主語になっているどころか，条件節が使役述語の主語になっているという構文が使われているのが面白いかも知れない．

(21)

m-i-antso-a	aloha,	azafady,	raha	ho	avy
AV.PRS-VM-呼ぶ-IMP	先に	どうぞ	もし	FUT	来る
aty	an-trano	ianao			
ここに	ACC-家	あなたは			

「もしあなたがうちに来るのなら，前もって電話をくださるようお願いします」

(21)は，風間が「時間的前後関係に則していないナラ条件文」として挙げている和文「家に来るなら，電話をしてから来てください」が元になっている．マダガスカル語で raha 節が後置されているのは，これしか言えないのか，それとも，dia を後ろに伴って前置することができるのかは定かではない．

[16] mahandreraka の n-の正体はよくわからない．maha-は形容詞的な語の前に付いて，使役（形容詞で表わされる状態を引き起こす）的な動詞を形成するが，通常 n-は挟まらない．n-は名詞語根動詞を繋ぎ合わせるリンカーと同じ音形を持っているが，それが何故ここに現われているのかは不明である．

(22)	rehefa	m-an-eno	ny	lakolosy	dia	laza-o
	もし	AV.PRS-VM-鳴る	DEF	ベル	たら	言う-OV.IMP
	ahy	azafady				
	私を	どうぞ				

「もしベルがなったら私に教えてください」

(22)は，風間(2015)が「予想を伴った条件文」として挙げている「(もうすぐベルが鳴るので）鳴ったら，教えてください」が元になっている．raha/rehefa 節が主節（帰結節）の前に置かれる場合には間に dia が置かれ(22，23)，主節の後ろに置かれる場合には dia あるいはそれに代わるものを必要としない(21).

(23)	raha	m-an-eno	ny	lakolosy	dia	laza-o
	もし	AV.PRS-VM-鳴る	DEF	ベル	たら	言う-OV.IMP
	ahy	azafady				
	私を	どうぞ				

「もしベルがなったら私に教えてください」

(23)は，風間(2015)が「予想を伴わない条件文」として挙げている「(もしかしたらベルが鳴るかも知れないので）鳴ったら，教えてください」が元になっている．マダガスカル語では，(22)では rehefa，(23)では raha と微妙な使い分けをしている．

(24)	tsy	m-a-hazo	m-i-hinana	izay[17]
	NEG	AV.PRS-VM-ていい	AV.PRS-VM-食べる	者
	tsy	m-i-asa		
	NEG	AV.PRS-VM-働く		

「働かないものは食べてはいけない」

(24)は，風間(2015)が「相関構文」として挙げている和文「働かざるもの食うべからず」が元になっている．izay は関係節を受ける主要部名詞が無いときに用いられる．

(25)	raha	mbola/mba	m-an-am-bola	kely	moa
	もし	もっと/もっと	AV.PRS-VM-持つ-お金	少し	だったら

[17] マダガスカル語の関係節は，通常，関係詞的なものを使わずに，主要部名詞に後続するが，主要部名詞が無いときには，izay を用いる．

aho
私は
「もし私がもうちょっとお金をもっていたらなあ」

(25)は，風間(2015)が「言いさし insubordination・願望」として挙げている和文「もう少しお金があったらなあ」が元になっている．マダガスカル語でも「言いさし」と言っていい構文になっているが，不変化詞，mbola/mba，moa がどういうニュアンスを添えているのかは，まだまだ今後も検討する余地が大いにあるものである．

(26)	m-an-inona	raha	ho-han-i-nao	koa	ity?
	AV.PRS-VM-何	もし	FUT-食べる-OV-あなたが	も	これ

「あなたがこれも食べたらどう？」

(26)は，風間(2015)が，「言いさし insubordination・提案」として挙げている和文「これも食べたら？」を元にしたものである. マダガスカル語では, 主節 maninona（どうします（か））まで言っているので，厳密な意味では，言いさしではないかも知れない.

(27)	a-taov-y	izay	tia-nao	raha
	OV-する-IMP	こと	好き-あなたが	もし
	tia-nao	a-tao		
	好き-あなたが	OV-する		

「もしあなたがしたければ，したいことをしなさい」

(27)は，風間(2015)が，「言いさし，突き放し」の例として挙げている「やりたいなら（自分の）好きなようにやれば？」が元になっている．マダガスカル語では，ataovy（しなさい）があるので，言いさしではないようである．

(28)	tsy	mety	vaky	ity	kaopy	ity
	NEG	能う	割れる	この	コップ	この
	na	m-i-latsaka			aza	
	あるいは	AV.PRS-VM-おちる			するな	

「このコップは落ちても割れない」

(28)は，風間(2015)が「仮定的な逆接」として挙げている和文「このコップは落としても割れない」が元になっている．na ~ aza で，「〜ても」の意味になると，豊田から教示を得

た.

(29) lafo ity paoma ity nefa tsy mamy
高い この りんご この しかし NEG 甘い
akory na dia kely aza
どう か と 少し するな
「このりんごは高かったのにちっとも甘くない」

(29)は，風間(2015)が，「アクチュアルな逆接」として挙げている和文「このりんごは高かったのに，ちっとも甘くない」が元になっている．マダガスカル語でも素直に，逆接の接続詞 nefa で繋がれている．akory na dia kely aza という語群が「ちっとも」辺りの意味を担っているらしいが，その部分部分を見ても，全体の意味はわからなさそうだ．しかし na ~ aza は(28)からすると，「〜ても／〜でも」あたりの意味を担っているのかもしれない.

(30) t-any an-trano-ny aho kanefa/nefa tsy
PST-そこに ACC-家-彼(女)の 私は しかし/しかし NEG
t-ao izy
PST-そこに 彼(女)は
「私は彼(女)の家に行ったけれども，彼(女)はそこにいなかった.

(30)は，風間(2015)が，「逆接３」と呼ぶ異主語による逆接の表現の例であり，和文「彼の家に行ってみたけれども，彼はいなかった」が元になっている．単純に逆接の接続詞 kanefa/nefa で２節が繋がれている.

(31) m-i-andry eto aho mandra-p-aha-tonga-n-iny
AV.PST-VM-待つ ここで 私は まで-NMLZ-CAUS-着く-CV-あの
olona iny
人 あの
「あの人が来るまで，私はここで待っています」

(31)は，風間(2015)が，「時間的制限(1)」と呼ぶ「〜するまで」を含む文で，和文「あの人が来るまで，私はここで待っています」が元になっている．この「〜するまで」は，マダガスカル語では，mandraka プラス動詞の状況態名詞形で表現される．mandraka と，状況態名詞形 fahatongana(-iny)は音韻論的規則によって mandra-pahatongan’iny となる.

(32) h-an-ao sakafo aho mandra-p-aha-tonga-n-iny
AV.FUT-VM-作る 食事 私は まで-NMLZ-CAUS-着く-CV-あの
olona iny
人 あの

(32)は，風間(2015)が，「時間的制限(2)」と呼ぶ「〜するまでに」を含む文で，和文「あの人が来るまでに，食事を作っておきますよ」が元になっている.「〜するまで（に）」は，(31, 32)で同様に表現されている．しかし主節の動詞は，(31)では現在形，(32)では未来形になっている．その違いが，日本語での「〜まで」と「〜までに」に対応しているかどうかは，もっと多くの例を集めてみないとわからない.

2.2. そのほかの例

「構文の種類」的には重複や偏りもあるとは思われるが，マダガスカル・アンタナナリブ[18]市で，Mme Raobelina Nivo Haingo Holy Tiana Eva からマダガスカル手話に関して集め例文をフィールドノートからピックアップして，東京で豊田ライブ氏に，本稿のスコープに該当すると思われる文をマダガスカル語で作文してもらったものを以下に挙げる.

(33) lasa any am-p-i-anar-ana Rakoto dia
行った あそこに ACC-NMLZ-VM-学ぶ-CV ラクト て
n-am-aky boky
AV.PST-VM-読む 本
「ラクトは学校に行って，本を読んだ」

(33)は単純な「〜して，〜した」という文である．dia で接続されている．前後の節は，それぞれ主節として機能できるものである．ただ，主語 Rakoto が共有されているので，後節の末尾に来るはずの Rakoto は省略されているし，また standard average European 言語のように代名詞で必ず言わなければならないということも無い．接続詞 dia で繋がれているのは 2.1 節の(2)と同じである.

(34) tsy afa-po Rasoa fa/satria tsy afaka
NEG 自由だ-心 ラスアは で/なぜなら NEG 自由だ

[18] Antananarivo の仮名書きは，マダガスカル語の o が/u/ [u]の綴り字であるので，ヴを使う人はアンタナナリヴと書き，それを使わない人はアンタナナリブと書く．出版物やネット上でよく見られるアンタナナリボは，綴り字の日本語ローマ字読みである.

m-i-voaka
AV.PRS-VM-外出する
「自由に外出することができないので，ラスアは不満だ」

(34)に用いられている fa は機能的に未分化なところがある接続詞で，様々な意味で使われうる．ここでは後続する理由節の先頭に置かれている．satria は「なぜなら」を意味する接続詞である．ここでもやはり，前後の節はそれぞれ主節として機能できるものである．しかし，主語 Rasoa が共有されているので，後節の末尾に来るはずの Rasoa は省略されている．2.1.節では理由を fa，ka で表現するもの(7，8)を見たが，ここでは satria の例(34)をみた．

(35) tsy m-i-asa ny hozatra raha m-i-taingina
NEG AV.PRS-VM-働く DEF 筋肉 もし AV.PRS-VM-乗る
aotomobilina foana
自動車 いつも
「自動車にいつも乗っていると，筋肉が動かない（運動不足になる）」

(35)では，条件節「もし～」が raha で導かれている．仮定条件は，2.1.で raha 条件節が先行する(13)を見た．ここでは，raha 条件節が後行している．

(36) m-i-menomenona foana i Mama hoe
AV.PRS-VM-不満を言う いつも DEF ママ COMP
diov-y ity trano m-a-loto ity
綺麗にする-OV.IMP この 部屋 AV.PRS-VM-汚い この
「『この汚い部屋を綺麗にしなさい』とお母さんはいつも怒っています」

(36)は，補文標識 hoe を持った構文である．補文は明らかに従属節と考えられるが，hoe 以下は，そのまま命令文として使える節である．英文法的に言うと「直接話法」的である．

(37) m-an-drivotra ny andro ka
AV.PRS-VM-風吹く DEF 日 ので
a-taov-y m-a-tevina ny
OV-する-IMP AV.PRS-VM-厚い DEF

akanjo-n-jaza[19]/akanjo-n-ity　　zaza　　ity
服-LNK-赤ちゃん/服-LNK-この　　赤ちゃん　この
「風が吹いているので，（この）赤ちゃんの服を厚くしなさい」

(37)は ka の前に理由節が来ている例である．

(37’)　a-taov-y　　m-a-tevina　　ny　　akanjo-n-jaza
OV-する-IMP　　AV.PRS-VM-厚い　　DEF　　服-LNK-赤ちゃん
rehefa　　m-an-drivotra　　ny　　andro
もし　　AV.PRS-VM-風吹く　　DEF　　日
「もし風が吹いているのなら，赤ちゃんの服を厚くしなさい」

(37’)では，(37)の理由節の代わりに条件節にしており，その条件節はこの例では，主節に後置している．

(38)　a. aza　　m-an-ome　　azy　　fa
NEG.IMP　　AV.PRS-VM-与える　　彼(女)　　から
m-an-arararaotra　　izy
AV.PRS-VM-利用する　　彼(女)は
「彼(女)は(あなたを)利用するから，彼(女)には与えるな」
b. m-an-arararaotra　　izy　　fa
AV.PRS-VM-利用する　　彼(女)は　から
aza　　m-an-ome　　azy
NEG.IMP　　AV.PRS-VM-与える　　彼(女)
「彼(女)は(あなたを)利用するから，彼(女)には与えるな」

(38a, b)では，理由節と否定命令節の前後が入れ替わっているが，同じ接続詞 fa で繋がれている．接続詞 fa はどちらの構造でも使えるほどに，機能の軽いもののようである．

(39)　m-i-ova-ova　　ny　　taleha-n-ny
AV.PRS-VM-替わる-REDUP　　定　　長-LNK-DEF

---

[19] リンカー(LNK) -n-は，後続名詞が先行名詞を意味的に修飾する関係にあるときにも用いられる．akanjo-n-jaza は akanjo 服，-n-リンカー，jaza 赤ちゃんで，赤ちゃんの服の意味になる．

televizionina　no　m-aha-tonga/anton-ny
テレビ　が　AV.PRS-CAUS-来る/理由-定
f-i-ova-ova-n-ny　mp-an-dika
NMLZ-VM-替わる-REDUP-CV-DEF　AGNM-VM-通訳する
teni-n-ny　tanana
言葉-LNK-定　手
「テレビ(会社)の社長がしょっちゅう替わることが，手話通訳者の変更（をもたらす/の理由だ）」

(39)は，「理由節 no 帰結節」という構文である．帰結節では，mahatonga あるいは anton’ が述語の位置に置かれている．

(40)　a-vadi-badih-o　io　pataloha　io　ho　maina
OV-ひっくり返す-REDUP-IMP　その　ズボン　その FUT　乾いた
「そのズボンが乾くように，（時々）ひっくり返しなさい」

(40)では，未来の標識 ho が目的節の標識の機能も担っている．

(41)　m-i-vidian-a　manga　manta　h-a-tao　lasary
AV.PRS-VM-買う-IMP　マンゴー　未熟な　未来-OV-作る　ラサリ
「ラサリ（アシャール）を作るために，青いマンゴーを買いなさい」

(41)でも，未来の標識 h-が目的節の標識を兼ねている．2.1.の例(10)と比べると，目的節はまず，動詞の未来形で表現することがわかる．そこに(10)のようにさらに mba が添えられる場合もある．また，過去のできごとを表わす際には，目的節の標識が無いことも見た(9).

(42)　tantan-o　io　zaza　io　sao　very/tsy hita
手を引く-OV.IMP　その　子供　その　しないように　失う/NEG 見える
「子供を見失わないように，手を引きなさい」

(42)では，sao が否定目的節(concessional clause)を導いてる．

(43)　a. m-ila　lavaka　maro-maro　raha
AV.PRS-要る　穴　沢山-REDUP　もし

m-am-boly　　zana-tsaonjo
AV.PRS-VM-植える　　子供-タロイモ
「もしタロイモの種芋を植えるのなら，穴が沢山要る」

b. m-ila　　lavaka　　maro-maro　　rehefa
AV.PRS-要る　　穴　　沢山-REDUP　　の時
m-am-boly　　zana-tsaonjo
AV.PRS-VM-植える　　子供-タロイモ
「タロイモの種芋を植えるとき，穴が沢山要る」

(43a, b)では，条件節と時間節が対照されている．

(44)　tsy　　mety　　ny　　f-i-zara-(a)-nao[20]　　zavatra
NEG　　適切だ　　DEF　　NMLZ-CV-分ける-CV-あなたの　　もの
satria　　lasa　　m-i-alona　　ny　　sasany
なぜなら　去る　　AV.PRS-VM-羨む　　DEF　　幾人か
「あなたのものの分け方は不適切だ．なぜなら何人かは他人を羨みながら去るから」

(44)では，後ろの理由節が satria に導かれている．

3. おわりに

以上に見てきた例文を分類して以下にまとめる．

接続詞による等位接続は，同時動作(1’c，d)，継起的動作(2，33)，理由(3，8，37，38a，38b，39)，異主語(4)，並行動作(6)，接続詞を伴う逆接(28，30)があった．

従属節が先行するものは，条件節(11’，17，19，22，23)，時間節(13)があった．raha/rehefa に導かれる従属節が先行するこれらの例では，後続する主節との間に dia が置かれている．

従属節が後行するものは，同時動作(1b)，理由節(7，34，44)，目的節(9’，10，40，41)，条件節(11，18，20，21，26，27，35，37’，43a)，仮定的な逆接(28)，補文(36)，否定目的節(42)，時間節(43a)があった．

従属節の主要部動詞の代わりに主要部となる状況態名詞を使っていたものには，同時動作(1a)，時間的制限(31，32)があった．

接続表現が無いものは，付帯状況(5)，目的節(9)，反実仮想(15，16)，相関構文(24)，があった．

---

[20] fizaranao では，ra の音節に力点が置かれることからも状況態標識-a(n)があることがわかるが「表層の」綴りには現われない．

言いさしは，願望(25)があった.

条件節が先行するものは，条件節の末尾に dia を伴うものがほとんどである．条件節が後行ものには，dia は用いられない．とすると，これは，マダガスカル語のもっと単純の文において, dia を用いて対比的焦点語句を文頭へと動かす操作と同じ原理によって変形されているのであろう.

アンケート（風間 2015）の範囲をはみだしていたものは，補文(36)，fa 理由節の前後入れ替え可能性(38)，raha 条件節(43a)と rehefa 時間節(43b)の対照などであった.

Fugier (1999)は，複節構文に関して，従属(subordination)，動詞連続(sériation)，等位接続(coordination)を挙げている．しかし，Fugier (1999)も fa によって導かれる節を従属節としてあつかっているが，fa 理由節が前後入れ替え可能であったりすることから(38)，実は，等位接続と，従位接続も連続したものであり，截然ときれない連続部分があるのかもしれないということが疑われる．このあたりは，今後さらなる検討が必要である.

略語　ACC (accusative 対格), AGNM (agent nominalization 動作主名詞化), AV (actor voice 動作者態), CAUS (causative 使役), CMPL (completive 完結), COMP (complementizer 補文標識), CV (circumstantial voice 状況態), DEF (definite 定), DES (desiderative 願望), FUT (future 未来), HRT (hortative 勧誘), IMP (imperative 命令), LNK (linker リンカー), NEG (negative 否定), NMLZ (nominalizer 名詞化子), OBL (oblique 斜格), PRS (present 現在), PST (past 過去), REDUP (reduplication 重複), OV (object voice 目的語態), VM (valency marker 結合価標識).

参考文献

欧文

Fugier, Huguette. 1999. Syntaxe Malgache. Louvain-la-Neuve: Peeters.

和文

角田太作. 1991 [2009]. 『世界の言語と日本語』. くろしお出版.

森山工. 2003. 『マダガスカル語テキスト』. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.